

編集後記

みなさま、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。2021年はどのような年だったのでしょうか？179リレーションズは全道各地に仲間の増えた1年でした。そして、そんな全道での活動で感じた生の声を届けるWEBマガジンの掲載記事が100本へ達しようとしています。手探りで始めたところから、ここまでたくさんの人の手を経て記事が作成されるようになったことを感慨深く感じます。その裏には、「編集部」というボランティアチームの存在があり、今回はその特集としました。これからもさらに現場の生の声をお届けできるよう模索していきたいと思っています。また、179リレーションズ関係者だけではなく、全道各地のみなさまの現場からも「声を届けたい！」「発信したい！」と思っていただけるようなWEBマガジンへと育てていきたいと思っています。またコロナウイルスの足音が聞こえ、戦々恐々とする年明けですが、2022年もどうぞよろしくお願いいたします。



179リレーションズ
コーディネーター／編集長
水谷あゆみ（たに）

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」とは

179リレーションズでは、北海道各地の”地域に関わる「入り口」”をつくります。ひとつひとつのまちや活動に注目し、住んでいる場所や世代を超えて誰もが対等な関係性を大切にしながら、若者をはじめとする次世代の担い手が育ち、変化に強い持続的な地域がつくられていくことを目指します。

特に以下の項目を重点項目として展開しています。

- ① 「関係人口」創出により、地域外の若手人材を地域の活動へ巻き込みます。
- ② 地域内の若者が、主体的に展開する様々な活動と連携します。
- ③ 関係人口創出WEBマガジン「179RELATIONS.net」から参加する若者のリアルな声をお届けします。

季刊誌「RELATIONS MAGAZINE」では、179RELATIONSの最新情報やホットな話題をお届けします。みなさんとの連携のきっかけになればと思いますので、気になる情報や活動がありましたらお気軽にお問合せください。



運営団体「NPO法人ezorock」とは



“ezorock”は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、2000年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動をきっかけに2001年4月に設立されました。青年層のネットワーク拡大とともに、北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやパワーを届ける事業を展開。活動を通して若者が自らの人生と社会を切り開いていく機会を作り出しています。

2019年度実績
活動日数 318日 人数 のべ1645人 地域 24市町村

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌

RELATIONS MAGAZINE!

PRODUCED BY ezorock 

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

WEB <https://www.ezorock.org/>  <https://lin.ee/ugUhj0g>

 <https://www.facebook.com/ezorock/>  <https://twitter.com/ezorock/>

<https://179relations.net/>



<https://www.ezorock.org/>

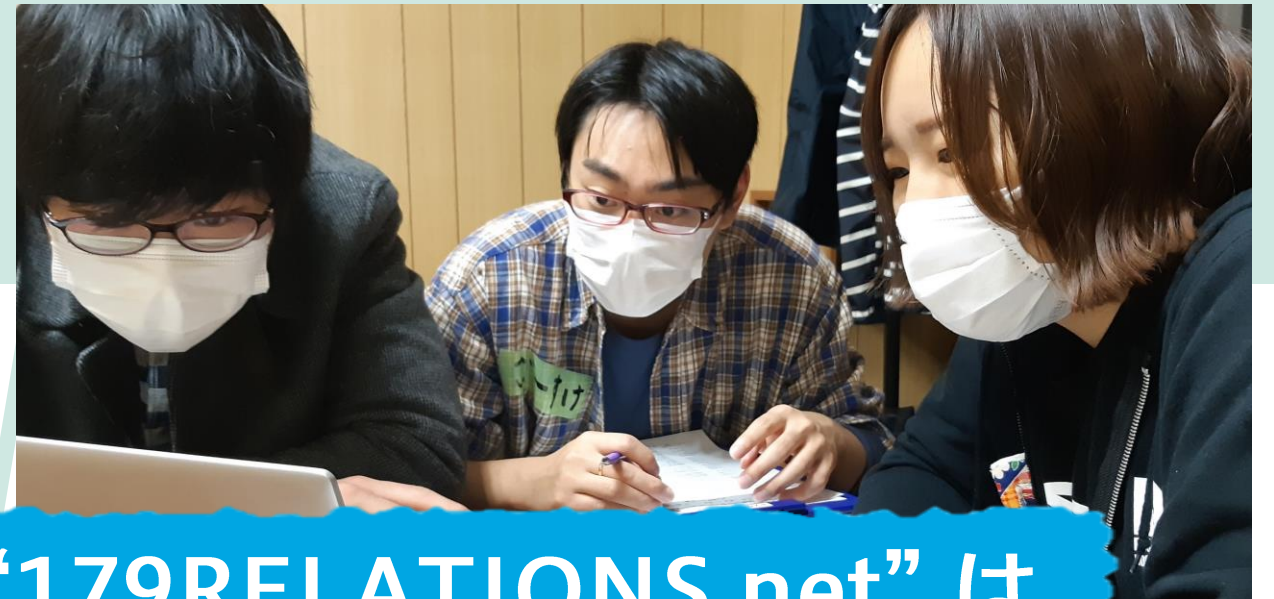


RELATIONS MAGAZINE!

2022.1

vol.7

179 RELATIONS

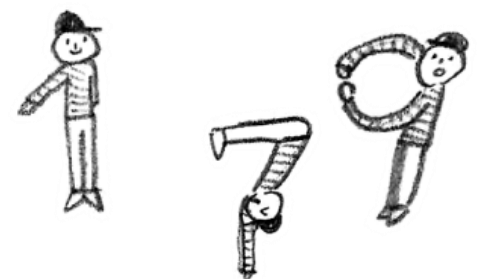


“179RELATIONS.net”は

どうやって

つくられているのか

WEBマガジン記事制作の裏側に迫ります。



<https://179relations.net/>

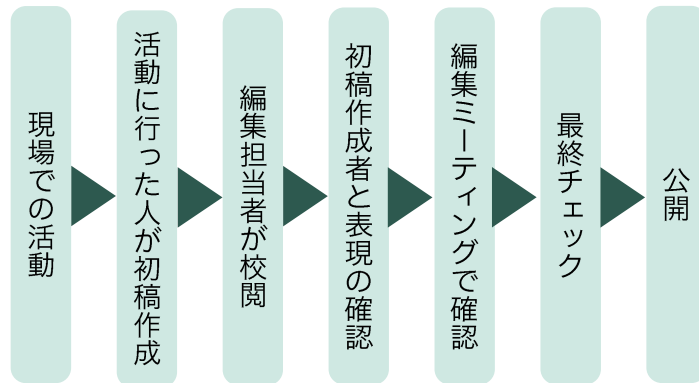
RELATIONS 

“179RELATIONS.net”は どうやって つくられているのか

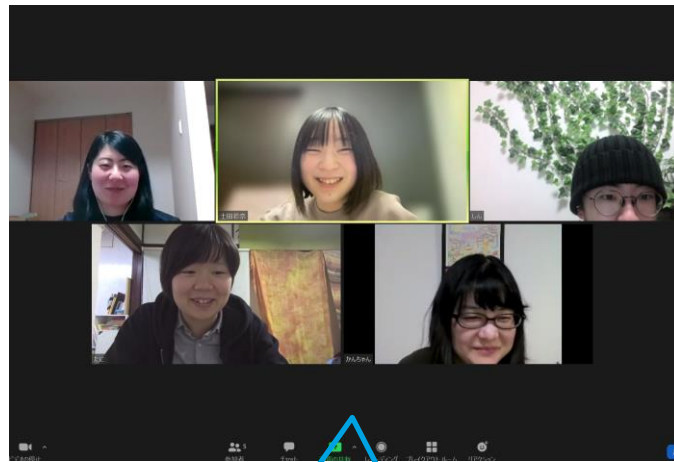
北海道の地域で活動する現場の声を届けるWEBマガジン「179RELATIONS.net」。2020年春から運営を開始し、これまでに多くの方に生の声を届けています。素人集団がどのように記事を作成しているのか。今回はその裏側に迫りました。

01

記事作成の流れ



ACTION 活動中



オンライン

179リレーションズボランティアチームの中に「編集部」があります。総勢7名のメンバーが週に1度の編集部ミーティングで記事の作成を行っています。メンバー達は編集やウェブサイトへの特別な知識や技術を持っているわけではありませんが、チームでの強みを生かして、時間をかけながら記事の編集を行います。本マガジンが最も大切にしているのは、現場の声。実際に活動に参加した若者の率直な想いや経験したことをレポートするWEBマガジンとして、生々しい想いをわかりやすく伝えるためにどのような表現が良いのか。時に白熱しながらも議論をしながら進めています。まだまだ拙い部分もありますが、今後も多くのみなさんに関わりながら、北海道の地域づくりに関わる生の声をお届けしていきたいと思います。

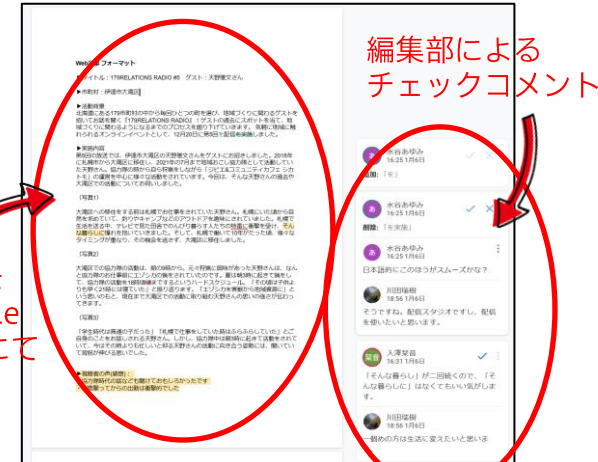
話してくれた人：小樽商科大学 土田若奈（わか）

編集部メンバーの声

編集部は、記事の編集を通して各活動の魅力や参加者の心境の変化を間近で感じられる点が魅力だと感じます。私は元々文章を書くのが好きで編集部の活動に興味を持ったのですが、編集作業はたった一つの単語にも時間をかけて熟考したりと地道で細かな面もあります。しかし、良い記事が完成した時には大きなやりがいを感じることが出来ます。編集技術を向上させ、読者が惹き込まれるような魅力ある記事を作っていきたいです。

02

鷹栖プログラムの記事ができるまで



REPORT 活動報告



鷹栖町・オンライン

活動背景

2021年10月に1泊2日×2回の鷹栖町DIYプログラムが実施されました。その後、参加メンバーにより報告記事が作成が行われ、完成したのは12月のこと。その間、参加メンバーと編集部による細かい打ち合わせが何度も実施されてきました。活動が終わってからも続いて参加したメンバーたちに想いを聞きました。話してくれた人：北海学園大学 山谷江里奈（やまより）

Q：なぜ報告記事作成に関わろうと思いましたか？

活動に参加して鷹栖町が素敵な町だと感じ、魅力を伝えて多くの人に訪れてほしいと思ったからです。

Q：記事作成に参加した感想を教えてください

活動を振り返る機会にもなり、また鷹栖町に行きたいと思いました。

Q：記事作成に参加して、現地での活動について視点や想いは変化しましたか？

変化しました。活動中は魅力を感じながらも、経験させていただいたことをどうやって発信できるかを考えていました。記事を作成して、発信することだけでなく、まず記事にアクセスしてもらうための写真選びやタイトルの大切さを感じるようになりました。



本紙は、一社）北海道総合研究調査会 休眠預金を活用した「北海道未来社会システム創造事業」の助成を受けて作成しています。活動の一部は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金を活用して実施しています。



続々更新中！



厚真長期滞在プログラム
〜厚真のたのしいだけ！

ACTIONS 98

ACTIONS 97
食でつながる関係人口
〜浜益米を食べて感じたこと

ACTIONS 96

ACTIONS 92
はまます集落の教科書
制作中！

ACTIONS 89

ACTIONS 88
広尾町で子どもたちと酪農体験！〜牛たちから教えてもらった大切なこと〜

ACTIONS 87

WEBマガジン記事
ピックアップ

12月1日
AIRDORR機内誌rapora
(176RELATIONS)

11月30日
北海道新聞
(浜益版集落の教科書)

報道採録

20日
176RELATIONS
RADIO #5 配信

18日
16日
16日
旭岳2021同窓会
鷹栖町まちづくり
セミナー

3日
【176 REPORT】
VOL.2 放送
「厚真、行ってきました！」
オンライン説明会

12月

20日
月に一度は森づくり
@苦小牧

13日

浜益きむら果樹園
お手伝い

11月

23日
16日
週末
鷹栖町DIYプログラム
浜益集落の教科書
情報集め

「旭岳、行ってきました！」
行ってきました！

15日

9日
鷹栖町DIYプログラム
【176 REPORT】
VOL.1 放送

2日

大雪山国立公園旭岳
自然保護プロジェクト終了

10月

カレンダー